



愛仁会 千船病院

大阪市西淀川区福町3-2-39 TEL.06-6471-9541

千船病院附属 **千船クリニック**

大阪市西淀川区佃3-1-11 TEL.06-6471-9549

訪問看護 **ほほえみ**

ステーション 大阪市西淀川区佃2-5-24 TEL.06-6471-3121

千船病院(千船クリニック)は医療を通じて社会に貢献します

千船病院

検索

<http://www.chibune.aijinkai.or.jp>

高槻病院 ● 高槻市古曽部町1-3-13 TEL.072-681-3801

尼崎だいまもつ病院 ● 兵庫県尼崎市東大物町1-1-1 TEL.06-6482-0001

カーム尼崎健診プラザ ● 兵庫県尼崎市御園町54番地 カーム尼崎2F TEL.06-6430-1315

愛仁会千船在宅サービスセンター ● 大阪市西淀川区佃2-5-24 佃公園スカイハイツ101 TEL.06-6476-3965

介護老人保健施設「ユーアイ」 ● 大阪市西淀川区佃2-2-58 TEL.06-6471-5236



院長 あいさつ

■ 地元(西淀川区)と新病院にかける思い



院長 吉井 勝彦

この4月1日から千船病院の院長に就任いたしました吉井勝彦(よしい かつひこ)と申します。当院は昭和34年1月に西淀川区佃の地で開院した医療法人愛仁会千船診療所を前身とし、本年で59年目を迎えます。平成15年に小児科医長として着任してから、早いもので勤続15年となり、昨年までは副院長として小児系及び研修医教育を担当して参りました。本年からは病院経営に直接的に責任を持ち、また職員教育や地域医療を充実させる中心的存在である院長の重責を担うことになりました。

人生の多くの時間を過ごしたこの西淀川の地は、私にとっても大事な場所であり、その間、多くの諸先輩方にご指導頂き、同僚、後輩、職員の方々に支えられて参りました。また、診療を通して大勢の患者さまやご家族の方々と接し、多くを学んで参りました。

近年、医療は日々進歩し、病院の果たすべき役割も大きく変化しております。昨年7月に完成した新病院は、今後起こるであろう大規模災害に対しての耐震化はもちろん、災害時の拠点となる病院、救急センターとしての使命を果たしていく必要があります。また、高度な医療に対応するため、手術室・ICUの拡張や手術支援ロボット(da Vinci)などの最新医療機器の導入、快適な病室やテイルームなどの療養環境の充実、救急医療や周産期医療、各種がん治療などの診療機能の充実に加え、研修医・看護師教育など、未来を見据えた幅広い活動が期待されています。



■ 患者さまを救うために



地域の急性期総合病院としての役割を果たすためには、より親密な病診連携・病病連携を構築していく必要があります。「紹介患者さまは絶対に断らない」、「入院が必要な患者さまは必ず受け入れる」という姿勢で、皆さまのかかりつけである開業の諸先生方を支援していくことが重要です。また、高齢化が進む人口構造の変化や、人々の安全で良質な医療への要望に対して、病院は柔軟に対応していく必要があります。

患者さまから選ばれる病院となるためには、全ての職員が常に「患者さまを救うために」という意識を持続する必要があります。

■ 医療を通じて社会に貢献する

当院の理念である、「医療を通じて社会に貢献する」精神に則り、安全・安心の医療を提供するため、病院の運営に全力であたり責務を果たして参ります。

今日、病院経営は厳しい環境に置かれていますが、医療情勢がいかに変動しようとも、当院は揺ぐことなく、明確な方向性を持って進んで行きたいと思っております。地域の皆さまから信頼される病院、社会に貢献できる病院を目指し、職員一丸となって頑張参ります。

今後とも、変わらぬご支援のほど、宜しくお願い致します。

皮膚・排泄ケア認定看護師の主な活動内容

皮膚・排泄ケア認定看護師 木下 真由美

皆さんは皮膚・排泄ケアと聞いてどのようなことを想像されますでしょうか？何となく皮膚科医師と似たことをするのかとイメージされる方が多いかと思います。皮膚・排泄ケア認定看護師の主な活動内容は、皮膚科医師のように診断や薬の処方せず、褥瘡-じよくそう-(床ずれ)などの傷の管理、人工肛門や失禁(便・尿漏れ)等の排泄の管理と患者さん・ご家族のセルフケア支援になります。つまり、一人ひとりの皮膚の状況を観察し、ケア方法から皮膚トラブルの予防や改善の手助けを行います。

私は入院患者さんに対して褥瘡や失禁による皮膚トラブルの予防とトラブル発生時のケア、そして人工肛門造設直後のケア、外来患者さんに対しては人工肛門のセルフケア支援を行っています。どのようなことが皮膚トラブルの原因になっているのかをその方の生活背景から見つけ出し、トラブル改善のための対策を立てます。例えば、なかなか褥瘡が治らないといった場合は寝返り

の頻度・角度の調整や褥瘡の状態から軟膏や当てているガーゼの枚数や交換頻度が適切でないかもしれないということなどからケアの変更を検討していきます。便や尿が原因でお尻がかぶれてしまった場合、もしくはかぶれた経験があるといった情報があれば、かぶれ予防のケア方法を提案するといったことを行っています。また、退院後に人工肛門の周囲の皮膚がかぶれたり、外出が多くなったりすることで生活面での困ったことや疑問などがはつきりしてきます。外来ではそういった場合にどのようにするとトラブル予防ができるかといったアドバイスを行っています。

3月には専門看護師・認定看護師が行う「ちぶね塾」で赤ちゃんの皮膚トラブルについてお話をさせていただきました。このような場でお話しさせていただくこともありますが、褥瘡や尿・便による皮膚のかぶれなど何かお困りのことがありましたら、お気軽にご相談下さい。

母性専門看護師 濱田 恵美子

第1回「ちぶね子育て塾」を2018年3月24日(土)に開催いたしました。この「ちぶね子育て塾」は、千船病院の専門看護師・認定看護師・専従看護師が協力し、いろいろな分野のプロフェッショナルナースによる地域への貢献を目的として発足しました。

記念すべき第1回目は、当院で出産されたお母さまとお子さまを対象とし、

- ①感染制御実践看護師による感染予防対策
- ②救急認定看護師と母性看護専門看護師による小児科受診のタイミング
- ③皮膚排泄認定看護師によるスキントラブル



についてお話をさせていただきました。

当日は朝から温かく、桜が5分ほど咲き始め、お出かけ日和にも関わらず、生後2~3ヶ月のお子さまとお母さま、お父さま9組20名に参加していただきました。内容は講義以外に、個別に質問コーナーの時間を設け、授乳スペースやおむつ交換場所、体重測定コーナーを設置しました。

参加者の皆さまからは様々な意見や感想をいただきました。

『体重測定ができて良かったです』『とても参加しやすかったです』
『写真つきの説明で症状が見やすかった』
『どんな時に病院を受診したらよいのか不安だったので、
症状ごとに説明していただけて参考になりました』

担当者、参加者のお母さまやお父さま方も、終始笑顔でにこやかに過ごされており、参加者同士による交流も見られ、和やかな会となりました。

今後は、平日の開催を企画し、より多くの方が参加できるように年齢対象を広げようと考えています。これから企画して欲しい内容や、聞いてみたいことなど、ご希望があれば患者相談窓口へお伝えください。



新任 副院長・看護部長のご挨拶



外科系担当副院長
泌尿器科主任部長
樋口 喜英

平成30年4月、千船病院外科系担当副院長を拝命いたしました泌尿器科の樋口喜英(ひぐち よしひで)と申します。

私は平成14年8月から平成16年末までの2年半、千船病院泌尿器科の診療に携わっておりました。当時は低侵襲治療の代表であった腹腔鏡手術が泌尿器科において広まってきた時期であり、平成17年からは大学病院で研鑽を積んで参りました。

平成26年に再び千船病院に赴任し、現在は泌尿器科主任部長を務めさせていただいております。今では、排尿障害や尿路結石の診療に加え、術後の回復が早い腹腔鏡手術も一般化されており、質を高めた手術治療を行っております。阪神なんば線福駅に移転してからは、ロボット支援手術(「da Vinci」)も導入しており、良性疾患や悪性疾患を問わず丁寧で安全な医療の提供を心がけております。

外科系担当副院長として、千船病院内はもとより近隣の医療施設や多職種の方々との連携のもとに皆さまの健康維持増進に貢献できるものと考えております。地域における中核病院として、皆さまの健康に役立つ施設として、いつでも皆さまの身近にある安心できる場所であるように、その一員として責任をもって努力していく所存であります。よろしくお願いいたします。



消化器内科
副院長
船津 英司

このたび第二内科系副院長を拝命した消化器内科の船津英司と申します。私は2008年より千船病院で消化器診療に携わってきました。新病院の消化器内視鏡センターでは患者さんのプライバシー保護のため検査室を個室化し、患者さん一人ひとりにゆとりをもって丁寧に対応できるよう配慮しています。内視鏡機器は最新の機器を揃え経鼻内視鏡も高画質となっているので、胃がん検診や通常胃カメラもセデーションなしで楽に高精度の検査を受けていただけます。昨今増加している消化器癌の早期発見にも努めており、治療に関しては腹腔鏡を用いた低侵襲手術を提供する当院外科チームや大阪府内・兵庫県下の高度医療センターとも連携しています。抗がん剤治療や緩和治療が必要な方に対しては、地域での生活を維持したまま治療が受けられることが重要と考えており、病状が悪くなったときにも、すぐに診察や入院治療が受けられる体制を整えています。今後も消化器診療の充実だけでなく、内科・病院全体の診療レベルの向上およびサービスの改善に向けて邁進し、地域医療に携わる様々な職種の方と協同して、地域での生活を重視した医療が提供できるよう努力していきますので、病院ともどもよろしくお願いいたします。



看護部長
平井 智美

この度、千船病院の看護部長に着任しました平井智美(ひらいさとみ)と申します。地域の皆さま方には日頃から千船病院を選んでいただき大変うれしく思っております。私自身、千船病院で看護職としての道をスタートして35年になります。公私ともに千船病院を愛する一人です。地域で生活する一人として、医療を受ける側に立った目線で看護を提供して参りたいと思います。

医療は生活の一部です。必要な医療を最善の形で提供することができますよう、お一人お一人の方と関わるその瞬間を大切に、お互いに納得感、満足感、安心感を持つことができる看護を職員と共に提供して参ります。

少子高齢社会の中で、看護職の担い手の減少も働く人の人口減少と共に苦慮するところです。笑顔の奥に豊かな知識と確かな技術に支えられた看護の提供ができる看護職であることは、地域の方々の安心に繋がります。千船病院の看護師さんはとても素晴らしいと言って頂けるよう、看護部長として精一杯努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。





医療法人 板東医院

診療科目

内科
循環器内科
小児科

院長 板東 博志

〒554-0002
大阪府大阪市此花区2-18-22

◆診療時間、電話番号など

TEL.06-6461-4295
FAX.06-6461-4322



◆診療所の特徴◆

昭和28年に前院長が当地にて開院し、以来65年間にわたり、地域のかかりつけ医として地域に密着した診療を行っています。年代を問わず、家族ぐるみで地域の皆さまの健康をお支えすべく、あらゆる世代の方々を診療しています。また、高血圧や糖尿病心臓疾患などを中心に、生活習慣病の診療、管理を積極的に行っています。

◆板東院長から一言◆

患者さまそれぞれの生活や気持ちに寄り添った医療を心がけています。また、往診や在宅医療もできる限り細やかに行うことで、微力ながら患者さまの暮らしをお支えし、健康をサポートしていきたいと考えています。

◆千船病院との連携について◆

新病院(福駅前)への移転に伴い、交通の便が格段に向上し、連携させて頂きやすくなりました。紹介時にはいつも患者さまをスムーズに受け入れていただき、大変感謝しています。CTやMRIなどのオープン検査の依頼を含め、今後とも密に連携をお願い致したいと思っています。

医師の紹介・経歴

昭和56年：神戸大学医学部 卒業
神戸大学附属病院 勤務
神鋼加古川病院 勤務
平成9年：医療法人板東医院 開院

専門資格：日本循環器学会専門医
日本内科学会総合内科専門医

◆診療機能 在宅医療(訪問診療、往診)

◆院内設備 心電図・パルスオキシメーター・骨密度計・肺機能検査装置・超音波エコー・単純X線・オージオメーター

◆予防接種 ポリオ・ジフテリア・破傷風・三種混合・二種混合・麻疹・風疹・ムンプス・水痘・日本脳炎・インフルエンザ・ヒブワクチン・B型肝炎・A型肝炎・MRワクチン・肺炎球菌感染症

◆その他 健康診断・看護師2名

◆施設機能 駐車場3台

